

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.09.No193

9月号

## 目次

応急支援活動で社会貢献を しませんか.....	1
特集 平成24年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品 サロベツマイハート「夢工房」.....	2
道士会の動き.....	4
支部だより.....	5
【斜里・留萌・石狩】	
青年・女性の窓.....	6
【青年委員会】	
information.....	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 応急支援活動で社会貢献をしませんか

被災地応急支援特別委員会 委員長 牛田 健一

時間が過ぎると記憶は段々と薄れてきます。平成7年1月17日の朝、TVを見るとビルが傾き高架の高速道路が横倒しになっていた時の衝撃、平成23年3月11日昼過ぎ、ゆっくりとした長い地震が続き、近くで大きな地震かと思ってTVを見ると、建物が大きく揺れ、その後海からゆっくりと津波が押し寄せ車や家を飲み込む様子、何れの時も映画の1シーンを見ている様な不思議な時間でした。

日本全国で見ると、この他にも多くの地震が発生し建物が被害を受けています。

阪神淡路大震災の後、被災建築物応急危険度判定が行われた地震での参加判定士と判定の棟数は、

- ①H23. 3. 11 東北地方太平洋沖地震  
震度7 判定士 8541名 判定 95381棟
- ②H23. 3. 12 長野県北部を震源とする地震  
震度6強 判定士 229名 判定 2318棟
- ③H19. 7. 16 新潟県中越沖地震  
震度6強 判定士 2758名 判定 34048棟
- ④H19. 3. 25 石川県能登半島沖地震  
震度6強 判定士 405名 判定 7648棟
- ⑤H17. 3. 20 福岡県西方沖地震  
震度6弱 判定士 190名 判定 3012棟
- ⑥H16. 10. 23 新潟県中越地震  
震度7 判定士 3821名 判定 36143棟  
(全国被災建築物応急危険度判定協議会より)

この他の6回の地震時も含めて、全国で延18,000名を超える建築士の判定士が、20万棟近い被災建物の二次災害を防止すべくボランティアで応急危険度判定を行って来ました。

北海道に登録している民間判定士で実際に判定業務を行った会員は極僅かと思いますが、昨年改定された応急危険度判定の支援要請の中で、建築士会員の民間判定士の協力が望まれ、建築士会として派遣要請に応えるため連絡網の整備を進めていますが、まだ100名に満たない状況です。



地震に因る被害は無い方が望ましいですが、何時、何処に地震が起こるか分からないのが日本です。二次災害を少なくする減災のための応急危険度判定業務を担えるのは私たち建築士です。



連絡網に登録したからといって必ず派遣要請に応える義務は有りません。その時の各自の状況に応じた対応が良いのです。現地には行かずに受け入れ側のサポートとしての手伝いも考えられます。

建築士会会員で判定士に登録の皆様、これから登録予定の皆様、ぜひ連絡網に登録して社会に貢献する準備をしておきませんか。

21日の全道大会(恵庭大会)会場で登録の受付を行います。又、HPでも随時登録を受け付けます。

## 平成24年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品 サロベツマイハート「夢工房」



撮影：酒井 広司

### 審査講評 北海道赤レンガ建築賞 サロベツマイハート「夢工房」

過疎化と高齢化が進行する地方小都市において心豊かな暮らしを求めて、障がい者の方が自立し町の人たちと共生するという理想的な姿が長い時間をかけて模索されていた。本施設計画は、道北の豊富町で先導的な活動を続けてきた社会福祉法人が、障がい者を取り巻く地域の課題を解決するために、建築家と地元建設会社と共に知恵を出し合って完成させたものである。

建築家は3つの異なった機能、住居（共生型グループホーム「ドリームスポット」）、食品加工販売（ベーカリー「夢工房」）、公開空間（地域喫茶「夢サロン」）を巧みに空間として表現し、町なか国道に沿って平屋で連結させた。周りの街並みは、道内に多くみられるような屋根全体を片流れにして道路側に背の高い正面を持つ木造建物が連続する。その中で、歩道から駐車スペースの引きをとって幅の長い平屋を奥に建てた施設配置は、意図したとおり歩道を歩く人たちに「大きな広い空」を提供した。一連の施設は、人通りの少ない地方都市の市街地に穏やかな活気を呼び起こし、障がい者が自立して町の人たちと共生する姿を具現化した。この施設では障がい者に対して自立支援を行うばかりか、町の中心に彼らの共同生活の拠点を設け、美味しいと評判のパン屋さんで働く場を作り、積極的な事業運営を行っている。町の人が普段の食パンを買いに来店し、コーナーでは障がい者が作る焼き立てのパンをつまみながらついでに知人たちとおしゃべりをしている。ガラス戸の向こうではパンづくり講習会が開かれ、それら全てが道路からリニアに垣間見え、大きくとられた開口を介して外部と内部が一体化し、いわば「町の中の楽しそうなサロン」として有効に機能している。障がい者が仕事に誇りと意欲を持って暮らす様子は、家族や支援者にとって大きな喜びのはずだ。私設ではありながら極めて公共性と社会性のある計画が成立したことは、障がい者を取り巻く今後の地方小都市にとっての重要なモデルとなる。

クライアントの信頼に応えた建築家は空間提案のみならず、地域材である珪藻土や木材を用いて地域振興にも寄与しながら、サインデザインから什器備品の選定に至るまで微細にわたってデザインし、全てに細かく神経が行き届いており、コストパフォーマンスに優れシンプルではあるが上質な空間に仕上がっている。全体プログラムの先進性や独創性、建築自体の質の高さ、施工の丁寧さなど全てにわたって高く評価し、クライアントの志と実行力に敬意を払いたい。今日の北海道において、地域社会の発展と熟成に大きく貢献したとして評価し、北海道赤レンガ建築賞に最も相応しい作品とした。

（北海道赤レンガ建築賞審査委員長 大野 仰一）

- **作品名** サロベツマイハート「夢工房」
- **建築主** 社会福祉法人 サロベツ福祉会
- **設計者** Sa design office 一級建築士事務所
- **施工者** (建築主体：店舗) (株)佐々木組、  
(建築主体：グループホーム) (株)志賀組  
(電気) (株)広瀬電工舎、(機械) (株)恵菱設備
- **建築物の概要**
  - 所在地 天塩郡豊富町大通4丁目
  - 主要用途 店舗/グループホーム
  - 構造及び階数 木造平屋建/木造平屋建
  - 建築面積 214.22㎡/199.18㎡
  - 述べ面積 198.93㎡/192.62㎡
  - 竣工年月日 平成24年1月27日



□ **企画の特徴** (地域との関わりなど、特に配慮した点)

北海道の豊富町では人口減少、高齢化が進み中心市街の衰退が加速している。一方で、障がいを持つ方々の就労、生活の場は郊外の老朽化した施設が利用され、その規模や定員は不十分な状況であった。そこで、社会福祉法人サロベツ福祉会ではそれらの課題や問題を改善する下記の5つの目標を掲げて活動を行ってきた。①障がい者の「就労の場づくり」②障がい者が安心して暮らし続けられる「住まいづくり」③障がい者が共生できる「まちづくり」④多世代間の「交流の場づくり」⑤衰退する中心市街地の「賑わいづくり」5つの目標を実現する為、既存施設の建替えを契機に、豊富町のメインストリート沿いに3つの施設、ベーカリー「夢工房」、地域喫茶「夢サロン」、共生型グループホーム「ドリームスポット」の建設を計画した。

□ **設計の特徴**

「夢工房」では障がい者がパンの製造と販売を行なっている。誇りを持って仕事の出来る職場環境をつくり、丁寧な厨房作業の様子を多くの方々に知っていただく為、開放的な店舗と清潔で明るい厨房スペースとなるよう配慮している。隣接する「夢サロン」は障がい者の研修活動の場だけではなく、集会スペース、カフェ等に利用し、近隣住民の交流の場となるよう開放的で落ち着いた雰囲気的空間を目指した。また、併設する「ドリームスポット」では高齢者と障がい者が世話人の介助のもと共同で生活している。自立した日常生活が行ない易い間取りや素材の選定、介助や介護への対応の他、トータルコストの低減による家賃負担の軽減などに配慮している。3施設は各々が機能的かつ快適であることはもちろん、技術、コスト、維持管理等で相互メリットが生まれるように計画した。一定の大きさを持つことで「まちなみ」を形成し、人々の流れに変化を生み出すように意図した。

□ **施工の特徴** (工法の特徴、施工上の配慮、工夫等)

施設の用途上、ローコストでありながら維持管理費の掛からない建築が求められた。そこで地域の工務店の力が十分に発揮出来る在来木造工法を採用し、品質管理の基準として「北方型住宅」の施工基準を準用した。結果、基本性能としてQ値1.6、C値0.5を実現している。これは豊富町の地域型住宅である「サロベツ住宅」で培われた技術力によるところが大きい。基本性能を上げることでトータルコストを低減し、家賃負担軽減を実現した。また、シート防水を用いることで、雪下ろしや屋根管理の労力低減に配慮している。

□ **完成後の地域への貢献度等**

寂しくなった町の大通りに活気と賑わいが戻って来ている。オープン後、「夢工房」への遠方からの来客も増え、売上げは従前の2倍となり、スタッフが増員されて新しい障がい者雇用が生まれた。また、「夢サロン」は幅広い年代の利用者で賑わっている。「ドリームスポット」では世話人の介助のもと、高齢者と障がい者が助け合う新しい暮らし方が定着し始めており、高齢化と人口減少が進む豊富町における新しい持続可能な生活の実践として期待されている。施設開設から13年、着実な社会福祉法人の取り組みが、5つの「コト・モノづくり」につながり、健常者から高齢者、障がい者までが安心して暮らせるまちづくりに貢献している。



地域喫茶「夢サロン」



共生型グループホーム「ドリームスポット」



## 平成25年度応急危険度判定認定講習会のご案内

平成7年の阪神・淡路大震災において我が国で初めて実施された応急危険度判定ですが、この度の東日本大震災においても道内の判定士を含む述べ9千人弱の判定士により10万棟弱の建築物について判定が行われたところでした。

今年度も、下記日程で開催を予定しておりますので、皆様の積極的な受講をお待ちしております。なお、今回、更新対象の方へは直接ご案内しております。認定証の有効期限が切れている方、新規で受講希望の方は、各支部または本部事務局で配布している受講申込書にて本部事務局へ申込みください。（支部での受付はしません。）また、開催日が未定の会場については、決まり次第、本会ホームページにてご案内いたします。

受講申込書ほか各種様式は、本会ホームページ（<http://www.h-ab.com/>）からもダウンロードできます。

開催地	開催年月日	会場名	開催時間	
札幌市	平成25年10月8日	北海道第2水産ビル 8階会議室	13:30 ~ 15:30	
札幌市	(平成26年2月頃)	未定	午後	
函館市	平成25年10月29日	函館市中央図書館 大・中研修室	10:00 ~ 12:00	※
江差町	平成26年2月6日	檜山振興局 301会議室	13:30 ~ 15:30	
小樽市	平成25年11月20日	小樽市役所 別館 4階第3委員会室	13:00 ~ 16:00	
岩見沢市	平成25年11月22日	空知総合振興局 5階会議室	13:30 ~ 15:30	
旭川市	平成25年10月4日	上川総合振興局 3階講堂	13:30 ~ 15:30	
旭川市	平成26年1月16日	トーヨーホテル	未定	
留萌市	平成25年11月21日	留萌振興局 3階入札室	13:30 ~ 15:30	
稚内市	(平成26年2月頃)	宗谷総合振興局 4階大会議室	13:00 ~ 17:00	※
網走市	平成25年11月7日	オホーツク総合振興局 3階講堂	10:00 ~ 12:00	※
室蘭市	平成25年11月19日	胆振総合振興局 3階大会議室A	13:30 ~ 15:30	
苫小牧市	(平成26年2月頃)	未定	13:30 ~ 15:30	
浦河町	平成25年12月5日	日高振興局 201号会議室	13:30 ~ 15:30	
帯広市	平成25年11月7日	十勝総合振興局 講堂	13:30 ~ 15:30	
釧路市	平成26年1月21日	釧路市生涯学習センター 多目的ホール	13:00 ~ 16:00	
中標津町	平成26年1月22日	中標津町役場 3階301会議室	13:00 ~ 16:00	

※会場は、判定訓練又は机上訓練があります。詳細は、担当（総合）振興局へお問い合わせください。

### 道本部の主な委員会報告

#### ◆第3回 総務委員会

〈開催日〉8月3日(土)

〈議案〉

- 1) 専攻建築士制度改正に係るアンケートについて
- 2) 消費税の負担割合について（再度検討）
- 3) 平成26年度叙勲候補者について

#### ◆第3回 情報委員会

〈開催日〉8月17日(土)

〈議案〉

- 1) 第38回全道大会（恵庭大会）について
- 2) 会誌年間スケジュールの調整
- 3) 作品展について

#### ◆第2回 青年委員会

〈開催日〉8月24日(土)

〈議案〉

- 1) 全道大会（恵庭大会）青年サミットについて
- 2) 全道大会（恵庭大会）分科会について
- 3) その他

### 道本部の主な行事予定（9月）

- 4日 第4回理事会・地域貢献活動センター委員会  
 15日 二級建築士設計製図試験  
 20日・21日 （一社）北海道建築士会全道大会(恵庭大会)  
 青年サミット（20日）  
 支部長事務局長会議・分科会・式典・基調講演・懇親会（21日）  
 22日 女性建築士の集い

### 関係機関等会議出席状況（9月）

- 3日 北海道住宅リフォーム推進協議会臨時総会  
 高野会長出席  
 6日 日本建築家協会建築家大会 高野会長出席  
 9日・10日 CPD専攻建築士制度運営委員会WG  
 高野会長出席  
 25日 建築士会CPDプログラム評議会（東京）  
 高野会長出席

### 平成25年度定期講習受講のご案内

本会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会（建築基準法講習会、建築技術講習会（札幌開催のみ）など）を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券（受講は1回限り）を発行します。（割引券は、定期講習当日配布します）

割引額 会員 2,000円（会員外1,000円）

### 建築士会会員 みなさまの声 大募集

情報委員会では、ひろく皆様から、ご意見・ご要望（リクエスト）を募集いたします。「こんなこと知りたい」「わたしの主張」などなど・・・。

よりよい紙面づくり、ホームページのために会員みなさまの声をお聞かせください！

メール（[urakami@h-ab.com](mailto:urakami@h-ab.com)）またはFAX（011-222-0924）、郵送でも受付いたします。

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 （一社）北海道建築士会 情報委員会 宛て

## 斜里支部

隈 研吾が  
やってきた！

支部長  
丹羽 豊文



2013.6.22 なんと！  
あの建築家の隈研吾さんが清里町にやってきました。何のためか？誰もが感じるところ、正直、今でも解ったような...そんな感覚が私の中にあるんです。

あのレベルの人のことは凡人にはなかなか理解できないのかもなーきっと常に何かを追い求め、その感性と行動力があの作品を創りだすんだと私なりに理解しました。

今回は清里町を視察に来て、せっかくなので清里町の町民ホールで講演会をやっていただいた。主催は清里町の教育委員会、我々建築士会斜里支部は人集めで少しだけお手伝いをさせて頂きました。

講演会の当日、少し早めに会場の様子を見に行くと人が少ないなら電話で人集めしないとな〜と思い構えて居たのですが予想に反して結構くる！しかも！！建築士会の会員がたくさん来てる！！この講演会の前に札幌で行われた支部長会議で道東の支部長さんに集客の協力をお願い、さらに青年部のネットワークでフェイスブックを使っただけの集客をしたのですが、それが功を奏したかは解りませんが思った以上の動員で一安心でした。

講演の内容も経歴紹介に始まり、隈さんご自身の作品の紹介や建設の経緯のお話と建築士としてかなり興味深くためになる内容でした。集まった建築士仲間の顔ぶれを見ると、きっと建築の仕事好きでマジメな人が多いかもなど感じると共に集まってきた仲間達に感謝できた行事、みなさん有難うございました。又、何かあったらよろしくおねがいします。



隈さんと

## 留萌支部

留萌支部の近況

事務局長  
舩田 彰



各支部の皆様、士会活動での活躍本当にご苦労様です。

留萌支部は、本年、留萌分会・羽幌分会・北部分会の3分会を統一し留萌支部一本化で運営することとなりました。

一般社団法人への移行、会員数の減少、会員の高齢化等、要因はさまざまありますが、これからの事業運営に非常な難しさを感じています。

現在、会員数は72名まで減少しました。そのなか留萌支部の結束力はなかなかの物があります。恒例のチャリティビアパーティも盛大な中、終了することができました。

今年になり、公民共に発注工事が増えてきております。これを機に建築士だけでなく建築にかかわる人が多く必要になる気がします。

未来ある建築士として、地域に貢献できる建築士としてこれからも頑張っていきたいと思います。

全道各支部の知恵そして協力をお借りしながら留萌支部の活動を進めていきたいと思っています。

各支部の皆様、一緒に頑張りましょう。



ビアパーティ チャリティ寄付金贈呈風景

## 石狩支部

石狩支部見学、懇親会

事務局長  
末森 友美



今年の石狩支部見学会は、石狩新港にある東洋水産(株)の工場見学でした。東洋水産の工場は昨年、宮の沢工場も新港に移転して、第1工場、第2工場、北海道支店、研究室、冷蔵室からなる、札幌ドーム1.7個分の敷地の大規模な物となり、工場の見学が出来るようになりました。東洋水産(株)では焼きそば弁当の製造ラインを見せてもらい、東洋水産の歴史、カップラーメンの歴史の説明を受け、参加メンバーは普段関わる事のない内容に新鮮な気持ちで興味深く見学する事ができました。こちらの工場見学は一般の方も出来るとの事なので、興味のある方は行かれると楽しめると思います。

その後の懇親会は石狩市の130年の歴史のある鮭料理の店で有名な「金大亭」に行きました。石狩のまちが鮭でもっとも栄えた明治13年に創業以来、建物もその頃のまま「石狩なべ」の元祖として、現在4代目の店主が初代からの変わらない味を受け継いでる鮭料理の店です。石狩支部のメンバーの中にも「金大亭」に行くのは初めての人(私も含む)もいて、130年の歴史ある建物を見学して、歴史と趣のある部屋で美味しい鮭料理と、お酒で近況を語り合い、参加メンバーは楽しい時間を過ごし、今年も良い見学会となったようです。





# 建築のお仕事体験 in 新さっぽろ

## ～7月1日は建築士の日～

青年委員会 委員長 針ヶ谷 拓 己

娘の通う幼稚園でテレビ番組の取材が行われるようで・・・。「みらいのおとな」と題して、子どもたちが将来何になりたいか、ひとりひとり取材を受けるようです。うちの娘は今のところ「ドーナツ屋さんのお姉さんになりたい!」と話しています。よっぽどドーナツが好きなのですね。そんな娘にも建築というお仕事に興味を持ってもらいたいものです。

さて、7月1日は建築士の日! 建築士のみなさんは何か特別な1日となったのでしょうか?

青年委員会では建築士の日を記念イベントとして、昨年より実施している、「建築のお仕事体験イベント」を、今年は、新さっぽろサンピアザ光の広場にて、6月22日(土)・23日(日)に開催しました。昨年は札幌駅前通地下歩行空間にて行い、341名の来場をいただきましたが、今年は新さっぽろのショッピングモール…。多くの家族連れが来店することもあり、846名もの来場をいただき、多くの方々に建築士(会)をPRすることができました。以降、イベントの状況をご報告させていただきます。

の模型のスケールの大きさとブロック玩具のまちなみが目を引いて、参加者数No.1でした。



“折り紙建築”は、「少人数で」「楽しく」「低予算で」できる地域実践活動をキャッチフレーズに企画されたもので、紙に切り込みを入れながら折り込むことで、有名建築物等の絵を立体化させるもの。こちらは小学生高学年の子どもたちや大人の方に多くの参加をいただきました。



### 〈1. 建築のお仕事体験〉

将来を担う子どもたちに建築のお仕事に少しでも興味を持ってもらうことを目的に、各支部青年委員会の地域実践活動でもあります、下記4種類のお仕事体験コーナーを終日行いました。

ブロック玩具によるまちづくり (旭川支部)

折り紙建築 (釧路支部)

理想のお家を描いてみよう (日高支部)

お家の間取りを考えよう (札幌支部)

“ブロック玩具によるまちづくり”は、子どもたちにブロック玩具で自由に建物をつくってもらい、その建物を、旭川支部で用意した旭川駅舎の模型のまわりに並べてまちなみを作っていくというもの。そ

“理想のお家を描いてみよう”は、空知支部滝川分會「ちびっ子建築士コンクール」にて行われていたものですが、その活動を参考に日高支部でも行われている地域実践活動です。子どもたちが自分の好きなお家の絵を自由に描くものですが、大人には想像することのできないアングルでお家を描く子もいて、我々はその無限の創造力に圧倒させられました。

“お家の間取りを考えよう”は札幌支部が企画し、今回初めて実施されました。A4用紙に描かれた色付きパーツ(和室、洋室、リビング、トイレ、キッチン、家具、車、木、花など)をはさみで切り、A3用紙の配置図の上で、パズルのようにパーツを並べてお家の間取りを考えるものです。オリジナルで作成したパーツデザインのクオリティーが高く、手

描きのタッチもかわいらしいことからか、特に女の子に好評でした。お客さんの中には家に持ち帰って遊びたいので、このパーツを是非持って帰りたいと声をかけてくれる方も多数いらっしゃいました。



それぞれのお仕事を体験すると、イベント通貨「チーク」を給料としてもらうことができ、そのお金で会場内の縁日コーナーにて、お菓子やおもちゃを自由に買うことができる仕組みとなっていて、参加した子どもたちはすごく楽しんでいました。最近の子どもたちは貯金が好きなのでしょうか、お仕事をコツコツして2,000チークも稼ぐ子どもたちもいました（一つの仕事につき200チークの給与）



## 〈2. 建築設計実演〉

特定のお客さんから要望を聞き取りながら、2人の建築士が協議し、20～30分程度で住宅ラフプランを作るというもの。ソフトメーカーにもご協力いただき、建築士がラフプランの説明をしている間に、即興で平面図やパースも作成しました。また、これらの実演状況はマイク・ビデオカメラ・スクリーンを駆使して、まわりのお客さんにもわかるように、解説を交えながらLIVE中継を行いました。

設計実演を開始する15:00過ぎは、会場内の大型テレビでプロ野球の試合が放映されていたため、会場内で休憩されているお客さんの大半がテレビに夢中になっている超アウェイな状況であり、設計実演を開催するため、お客さんを振り向かせるべく、第一声を発する瞬間は、今までにない緊張感でいっぱいだったことを覚えています。



## 〈3. 建築何デモ相談〉

建築に関わる何でも相談を受けるというもの。ショッピングに来たお客さんの中で建築の相談がある人というのはなかなかいないもので、相談者は2日間で10名程度と混み合うことはありませんでしたが、担当者はしっかりとその相談に答えることができました。

## 〈4. 建築士会活動パネル展示〉

北海道建築士会青年委員会の活動パネルを展示しました。建築士の仕事の紹介パネル、青年委員会各委員の仕事紹介や建築士会活動紹介を記載した自己PRパネルや、最近の全道大会や青年建築士の集いの活動報告パネルを展示しました。

このような子どもたちへの建築体験イベントは昨年から行っています。本部青年委員らが、一般市民の方々と直接ふれ合い、自ら汗をかきながら行う唯一のイベント…。さらにイベント初日の夜には青年委員会（会議）も行われたことから、とてもハードな2日間となりました。今は辛くとも、きっと何十年か後には良い思い出話となるのでしょうか。



さて、冒頭でお話した私の娘も、この建築のお仕事体験に参加をして、喜んで帰っていきました。きっと建築のお仕事に興味を持ってもらえたのでしょう。ですから家に帰ってから一言、娘に尋ねてみました。

「将来、どんなお仕事してみたい？」すると…。

「ドーナツ屋さんのお姉さんになりたい！」

意志固っ〜！ そう簡単には子どもの心を動かさないということですかね。



## CPD認定プログラム（8月認定）

- ◆第38回（一社）北海道建築士会全道大会青年サミット  
 《日程及び会場》 9月20日（金） 13：30～17：30  
 黄金ふれあいセンター（恵庭市）  
 《単位数》 4単位
- ◆第38回（一社）北海道建築士会全道大会分科会  
 《日程及び会場》 9月21日（土） 13：00～15：00  
 恵庭市民会館（恵庭市）  
 《単位数》 各2単位
- ◆第38回（一社）北海道建築士会全道大会基調講演  
 《日程及び会場》 9月21日（土） 17：00～18：20  
 恵庭市民会館（恵庭市）  
 《単位数》 1単位  
 《上記大会に関する問合せ先》  
 （一社）北海道建築士会  
 TEL 011-251-6076
- ◆2013年女性建築士の集い 避難所運営ゲーム「HUG」研修会  
 《日程及び会場》 9月22日（日） 9：30～15：00  
 札幌エルプラザ（札幌市）  
 《単位数》 6単位  
 《問合せ先》（一社）北海道建築士会  
 TEL 011-251-6076
- ◆建築士向けセミナー「契約に関するあれこれNo2」  
 《日程及び会場》 9月5日（木） 18：30～19：30  
 北海道建築士会事務局会議室（札幌市）  
 《単位数》 1単位  
 《問合せ先》（一社）北海道建築士会札幌支部  
 TEL 011-232-1843
- ◆平成25年度北海道開発局営繕部工事安全連絡会議  
 《日程及び会場》 9月19日（木） 13：30～17：00  
 札幌第1合同庁舎（札幌市）  
 《単位数》 3単位  
 《問合せ先》北海道開発局営繕部  
 TEL 011-709-2311
- ◆地域における住教育実践推進業務「建築士による家庭科住教育出張講座」建築士向け住教育研修会  
 《日程及び会場》 10月5日（土） 13：00～16：00  
 北農健保会館「エルム」（札幌市）  
 《単位数》 3単位  
 《問合せ先》（一社）北海道建築士会  
 TEL 011-251-6076
- ◆平成25年度北総研フォーラム  
 「（仮）震災をきっかけとして住まいと建築を考える」  
 《日程及び会場》 10月2日（水） 13：00～17：00（予定）  
 札幌エルプラザ（札幌市）  
 《単位数》 4単位  
 《問合せ先》地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
 建築研究本部  
 TEL 0166-66-4218

## 建築士による家庭科住教育出張講座 建築士向けセミナーのご案内

開催日：2013年10月5日（土） 13：00～16：00  
 場 所：北農健保会館「エルム」  
 参加費：無料（定員20名）  
 ※詳細につきましては、同封の案内書をご覧ください。

## 青森建築士会西大会模様

平成25年度（一社）青森県建築士会西大会が7月20日21日西津軽郡鰺ヶ沢町で開催されました。本年は25周年の記念大会です。記念事業として、まちづくり委員会と女性委員会協同で、同町内の小学生を対象に「こんなお家にすんでみたい！青森の住宅コンテスト」を実施しました。応募総数314作品が集まり、金賞3作品、銀賞6作品、銅賞15作品が選ばれ、大会式典で入賞者への表彰式が行われました。また、作品が同町海の駅「わんど」で両日展示されました。表彰式に保護者と出席した子供達は、緊張の面持ちであったが自信に満ち晴れやかでした。これをキッカケに、将来建築士を目指す子が居ることを願います。今年度が最初の事業ですが、今後とも継続することと思います。その後2支部から地域貢献活動報告があり、大会式典は終了しました。大懇親会は町立鰺ヶ沢中学校生徒の津軽三味線演奏で開宴しました。郷土芸能が良く継承されています。和気あいあいの中祝宴は続き、次年度開催支部（三沢）のアピールで閉宴となりました。翌日は支部対抗スポーツ大会で汗を流し、無事帰宅されたことと思います。

副会長 吉木 隆



住宅コンテスト表彰式の子供達

## 編集後記

今月はいよいよ全道大会（恵庭大会）が開催されます。恵庭支部におかれましては、大会本番に向けた準備に追われ、お忙しい日々を送っていることと思います。大会サブテーマに「花のまち 恵みの庭で…」とあるように、多くの仲間が集い、語り、そして多くのものを得られる大会になるものと期待しています。大会までもうすぐです。オール北海道として大会を盛り上げましょう！

情報委員会 用田 史門

情報委員会委員長／岡田 隆  
 副委員長／三浦 浩・天城 秀典・神田 光英  
 委員／森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡  
 用田 史門・高松 徹・道塚 勉

## 北海道建築士 No.193号

印刷 平成25年8月／発行 平成25年9月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011) 251-6076番  
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011) 811-7151番